



【学校教育目標】「人間性豊かな心を持ち 実践力のある生徒の育成」
—思いやり・やる気・たくましさ—

若松中だより

千葉市立若松中学校
校報
第 33 号
令和 2 年 3 月 24 日

記憶に残る卒業証書授与式

校長 古市 直彦

新型コロナウイルス感染症予防のための休校措置期間中でしたが、3月12日(木)、本校第39回目の卒業証書授与式を行うことができました。来賓の方や在校生の参加がなく、ほとんど練習もできない中、内容も厳選しての実施となりましたが、堂々と卒業式に臨む卒業生の姿は本当に立派でした。私の式辞と卒業生代表別れの言葉の内容を紹介いたします。式に参加できなかった皆様に、少しでも雰囲気を感じていただけたらと思います。



卒業証書授与



卒業式 式辞



校庭の花々もほころび始めた今日この良き日、本校第39回卒業証書授与式を挙げていきますことに、職員一同、心よりお慶び申し上げます。卒業生の皆さん、保護者の皆様。ご卒業おめでとうございます。

平成から令和と元号が変わり、本校としても創立41年目の新しいスタートをきった令和元年度でしたが、台風による被害や、新型コロナウイルスの感染症予防のための休校といった、かつてない試練も多かった一年間でした。今日のこの良き日も、在校生の皆さんと一緒に祝福することができなく、心苦しく思っています。

でも、本来ならば、在校生代表として皆さんに送辞を贈る予定だった生徒会長の村上友哉君からは、次のようなメッセージを預かっています。

僕たち在校生は、部活動や委員会活動・学校行事等で、常に先輩の背中を見て学び、成長することができました。先輩方がいなかったら、今の僕たちはなかったと思います。三送会や卒業式では、どしたら先輩方に感謝の気持ちを伝えられるか、いろいろと考え、最高のものにしようと思っていましたが、三送会は中止になり、卒業式にも出られない状況になってしまいました。残念な気持ちで一杯です。でも、僕たちの気持ちは、今この場にあります。先輩方に教えていただいたことは、必ず、僕たちが後輩に伝えていくこととお約束します。それが、僕たちにできる、唯一の、そして感謝の饗です。お世話になった先輩方、本当にありがとうございました。ご卒業おめでとうございます。



これは、村上君だけの気持ちではなく、在校生全員の気持ちだと思います。卒業生の皆さんが三年間、本校、若松中学校で様々なことに挑戦し続けてきたということは、確かな足跡として、在校生の心に刻まれているようです。その頑張りに対して、私からもお礼を言わせてください。ありがとうございました。でも今日は、皆さんにとってのゴールではなく、新しいスタートの日です。これからも、若松中での経験を生かし、挑戦を続けてくれることを期待しています。

さて、保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、誠におめでとうございます。立派に成長し、新しい生活に向かう輝かしい前途を心より祝福申し上げます。また、本日まで、本校に対していろいろとお力添え・ご支援をいただきましたことに、厚くお礼申し上げます。私達教職員一同、微力ながら精一杯お子様の教育に携わってまいったつもりですが、十分でなかった点もあったかと思えます。今日の日を迎えることができたのも、これもひとえに保護者の皆様方の、温かいご協力があったからこそと思っております。心より、感謝申し上げます。ありがとうございました。

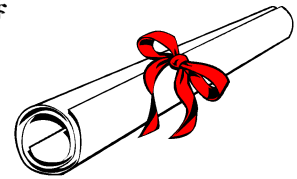
それでは卒業生の皆さん、これからも、挑戦を継続し、さらに成長してってください。若松中学校は、ずっと皆さんの母校であり、皆さんを応援し続けています。卒業する皆さんの前途が幸せに満ちていることを心から祈り、私の式辞といたします。

(千葉市立若松中学校 校長 古市 直彦)

卒業生代表 別れの言葉

私たちは今日で、義務教育の9年間を終えることになり、嬉しいような、少し寂しいような気持ちに包まれています。この中学校3年間を振り返ると、様々なことかありました。

1年生では、不安の中入学しましたが、先輩方や新しい友達に囲まれ、すぐに安心することができ、新しい生活の期待に胸を膨らませました。初めての体育祭や合唱コンクールでは、クラスの絆を深めることができました。



2年生ではクラス替えが行われ、新しい仲間と残り2年間過ごすと考え、より仲間を大切にしようと感じました。1月の自然教室では、一人一人が役割を持ち、少しずつ準備をして、責任をもって自分の仕事ことができました。

3年生では修学旅行で長野へ行きました。自分たちで自然教室よりも考えて行動しなければならず、大変でしたが、成功させることができました。

部活動では、たくさん大切な仲間がいました。3年間毎日、朝や放課後と、とても長い時間を一緒に過ごしました。たくさん笑ったり、時にはぶつかったりしましたが、そんな時間が大切だったと今では思います。そして集大成となる総体・コンクール。支え続けてくれた顧問の先生や家族への感謝と、信頼する仲間と全力で挑んだあの一瞬は、ずっと忘れることがないでしょう。

そして、受験という大きな壁に当たりました。くじけそうになったり、勉強をしたくなくなるときもありました。しかし、友達や家族、先生方に支えられ、最後までやりきることができました。

先生方。先生方には、感謝してもきれないほどお世話になりました。いつも笑顔で見守ってくださったり、時には厳しく指導して下さったりと、私たちは良い先生方に巡り会えました。本当に、ありがとうございました。

いつも一緒にいてくれた、お父さん、お母さん。素直になれず、迷惑をたくさんかけました。今日、義務教育を無事終えることができたのは、間違いなく家族の支えがあったからです。15年間ありがとうございました。そして、これからもよろしくお願いたします。



3年間一緒に過ごした友達、笑ったり泣いたり、いつも一緒にいてくれたから、ここまでたどり着くことができました。当たり前だったみんななどの生活がもうなくなってしまうと思うと、寂しくて、とても悲しいです。もっと、皆で過ごす日々を大切にしておけば良かったと後悔しています。これから一人一人別の道を行くこととなりますが、皆どの思い出は決して忘れません。今までありがとう。

名残は尽きませんが、この新しい旅立ちが、新しい出会いと素晴らしい未来へと続くことを祈り、別れの言葉とさせていただきます。
(卒業生代表 Kさん、Kくん)

別れの言葉



卒業の歌



4月6日の予定

- 学 活 8:10 ~ 8:20
- 着任・始業式 8:30 ~ 8:45 (放送で)
- 学 活 8:55 ~ 9:30
- 完全下校 9:45

● 新型コロナウイルス感染症予防を理由に欠席される場合は、その旨連絡をお願いいたします。欠席扱いには致しません。

校報「若松中だより 第33号」をお届けします。本年度も、保護者の皆様には大変、ご支援やご協力をいただきました。ありがとうございます。学校の様子を少しでもお知らせできればと思い発行して参りました校報も、本年度は、今号が最終号になります。一年間、お読みいただきありがとうございました。
次年度もどうぞよろしくお願いいたします。